

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成28年7月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(税込・送料込)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

自ら考え行動する

中山 和則

筑波メディカルセンター病院 副院長 兼 事務部長

今年の4月は、診療報酬改定で病院の幕が上がりました。

4月の実績を、旧点数で単純置き換えをすれば、実質マイナスであり、薬価についても、消費増税が延期となったものの、卸各社と病院では厳しい価格交渉が続いています。如何にして収益を確保していくのか。マイナス改定が続くなか、建物や設備の老朽化、人材確保など後回しすることで影響が大きくなる課題は山積みされていく。そして「医療費削減」という言葉がマスコミで取り上げられるようになり、以前は安定的といわれていた医療産業が、一転して、不況産業という目で若者達には映るようになってきているのではないのでしょうか。医療事務を教える学校への入学や、病院での職員募集でも、応募が減少していることにもあらわれています。現場からは、医師事務作業補助、看護業務補助など、専門職のサポート体制を求められるなか、DPC制度もより複雑化し、対応する事務職の教育や採用が追いつかないのも現状です。

通信教育受講者の合格率が、厳しい状況になっていることも、病院での通常業務の負荷が大きくなり、プラスαの学習に割ける余力がなくなったのか、受講者の気質が変わったのか、いづれにしても今、戦力が欲しい。

私は、事務部職員に「自ら考え行動する」職員となることを求めています。一から十まで教えている余力がもてない状況下で、知識を得ることも、今、自分の力は何の程度で、それをどう使うかも、自分で考えてみる癖をつけることを。

何か問題が起きたとき、「まだ、教わっていません。聞いていませんでした。」という返答は、義務教育の学生なら百歩譲っても、社会人の返答としてはあまりに幼稚すぎはしないか。実力や結果を伴うには時間がかかるのは仕方がないこと。

今、自分にできること、やるべきことを常に考えていれば、積極的に動くことも、協力していく姿勢も、逆に無責任に突っ走ることの制御も働くはずです。そういう「動ける」職員に育ててもらいたい。高学歴で潜在能力がありながら動かない職員より、発展途上でも「自分で考え行動しようとする」職員に魅力を感じます。これは私に限らず、部下をもつ身なら誰もがそう思うでしょう。認定試験に一度落ちて、それをバネに、努力して合格を勝ち取る。そういう姿勢は、絶対現場の力になると信じています。そういう職員と一緒に働いていきたい。

厳しい経営がまだまだ続きます。少数精鋭のチームで動かすには、組織力と同時に「個」の力も不可欠です。診療情報管理士の資格は、通過点であり、それを活かす場は、確実に広がっています。その力を表に出してくれることを、私たちは期待して待っています。

